

御 嶽 山

- 火山活動評価：やや活発な状況 ←19 日に静穏な状況から引き上げ
昨年（2006 年）12 月下旬から山頂付近の浅いところを震源とする、身体に感じない程度の微小な火山性地震が増加しており、ごく小さな火山性微動も発生しています。
御嶽山の火山活動はやや活発な状況になっていますので、山頂付近では注意が必要です。
- 火山活動の状況
 - ・地震や微動の発生状況（表 1、図 1、図 2）
昨年（2006 年）12 月下旬から山頂付近の浅い所を震源とする体に感じない程度の微小な火山性地震が発生し始め、その後増減を繰り返しながら、1 月 16 日から 17 日にはさらに増加し、現在もやや多い状態が続いています。
また、本日（19 日）05 時 58 分頃には振幅のごく小さな火山性微動（継続時間は約 1 分間）も観測されました。御嶽山で火山性微動が観測されたのは 1995 年 8 月 29 日以来のことです。
 - ・噴気など表面現象の状況（図 3、図 4）
遠望カメラ（剣ヶ峰の南東約 14km に設置）による観測では、山頂部の噴気等は観測されていません。
 - ・地殻変動の状況（図 5）
御嶽山周辺に設置している G P S による地殻変動観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は観測されていません。
- 防災上の留意事項
山頂付近に影響を及ぼす程度の小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂付近では注意が必要です。
- 過去の火山活動
1979 年 10 月 28 日に剣ヶ峰の南西山腹で水蒸気噴火が発生しました。このときの噴火では、山頂付近に噴石が飛散し、降灰は群馬県前橋市まで達しました。主な噴火活動は 28 日夜にはおさまりました。
1991 年には 4 月下旬から山頂付近を震源とする火山性地震が増加し、火山性微動も観測されました。5 月に入っても火山性地震および火山性微動の多い状態が続き、中旬には 1979 年の噴火で形成された火口内からごく小規模な噴火が発生しました。
山頂付近を震源とする火山性地震は 1992 年 11 月にも一時的に多発しましたが、その後、地震活動は静穏な状況が続いていました。

※ この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

表 1 御嶽山 A 点で観測された火山性地震の日別回数 (2007 年 1 月 15 日以降は暫定値)

2006年12月

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
1	2	1	9	15	6	5	8	20	45	70
月合計		184								

2007年1月

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
8	18	67	33	57	37	39	28	15	17
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日		
11	27	11	15	28	90	163	68		
月合計		723							

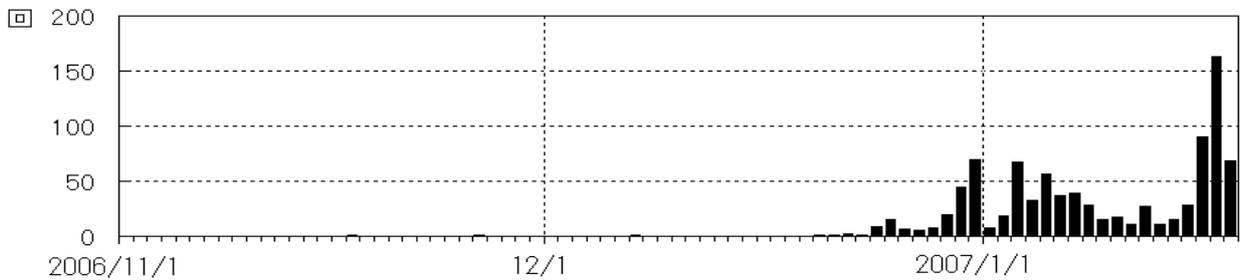


図 1 御嶽山 A 点で観測された火山性地震の日別回数 (2006 年 11 月～2007 年 1 月 18 日)

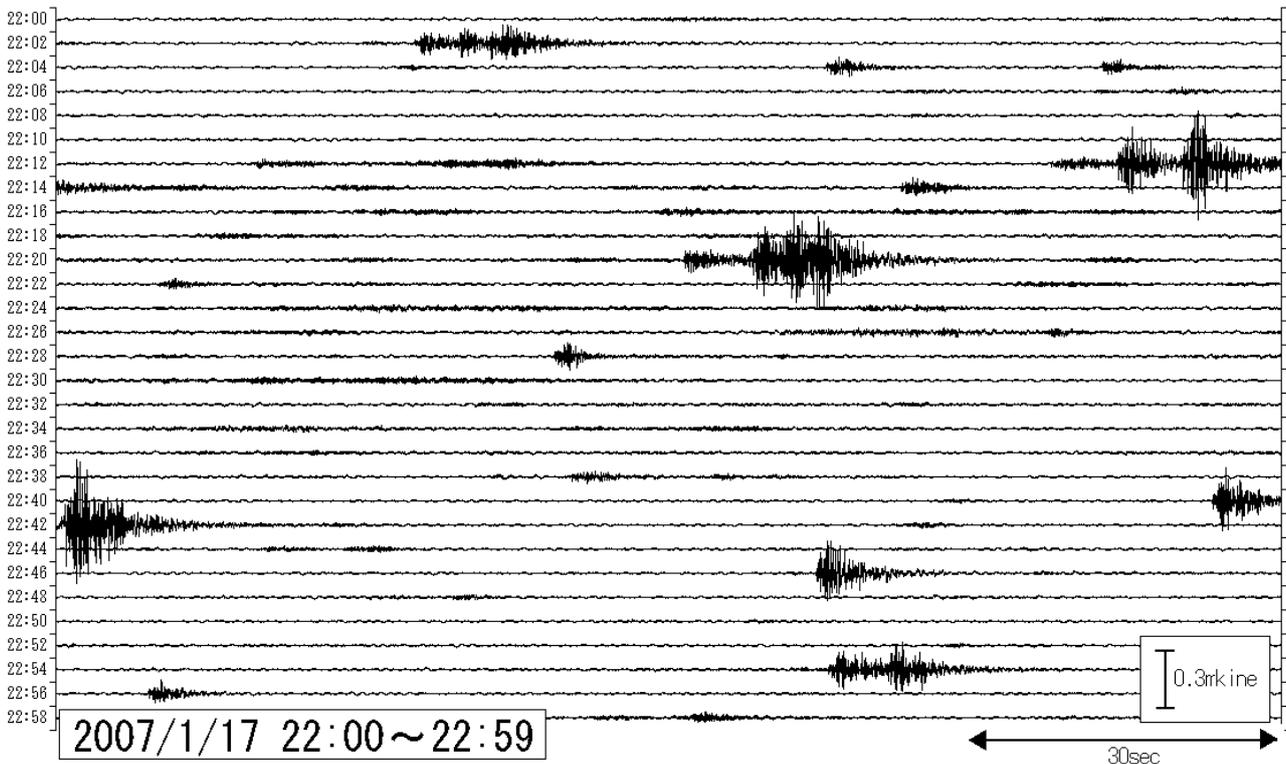


図 2 御嶽山 火山性地震のモニタ波形 (気象庁御嶽山 A 点)

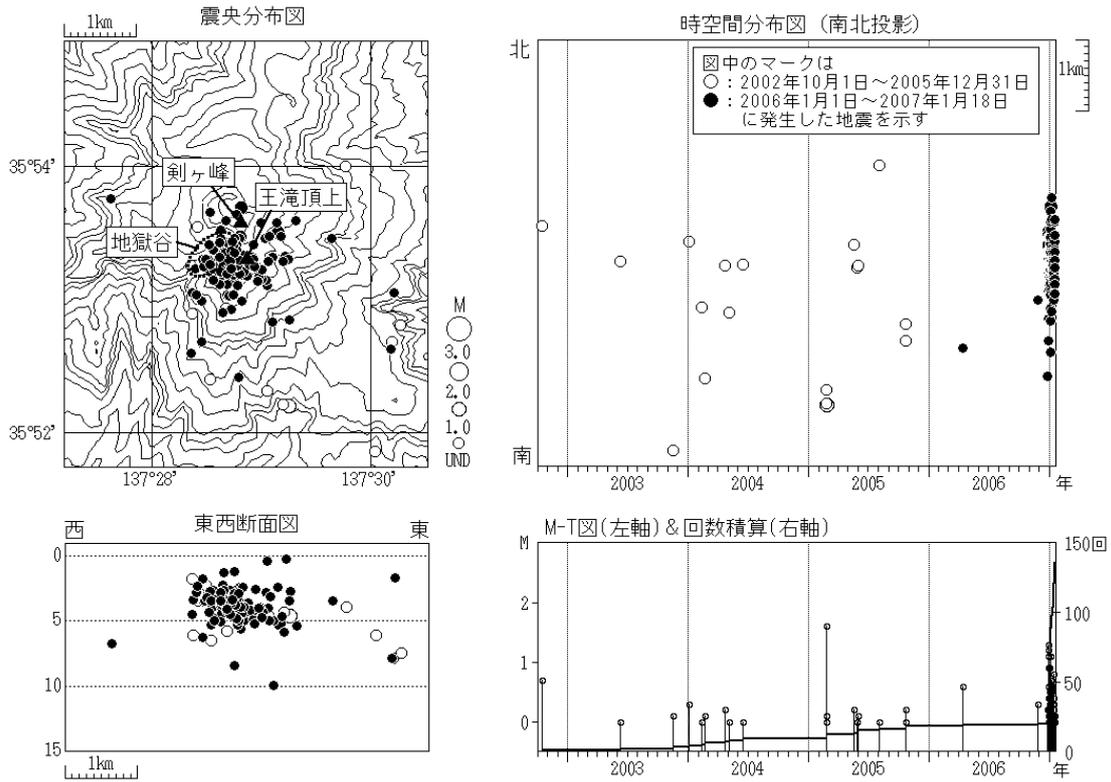


図 2※ 御嶽山 山頂付近の地震活動 (2002 年 10 月 1 日～2007 年 1 月 18 日)

M (マグニチュード) は地震の規模を表します。資料中の M は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

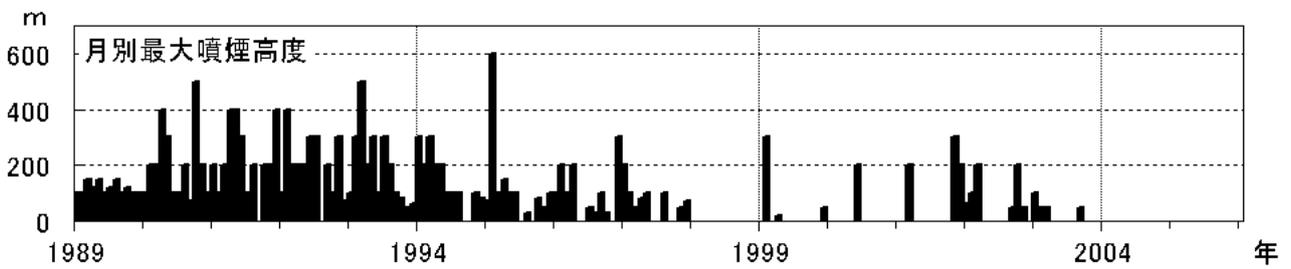


図 3 御嶽山 定時観測 (09 時・15 時) による月別最大噴煙高度 (1989 年 1 月～2007 年 1 月)



図 4 御嶽山 山頂部の状況 (2007 年 1 月 19 日、三岳黒沢遠望カメラによる)

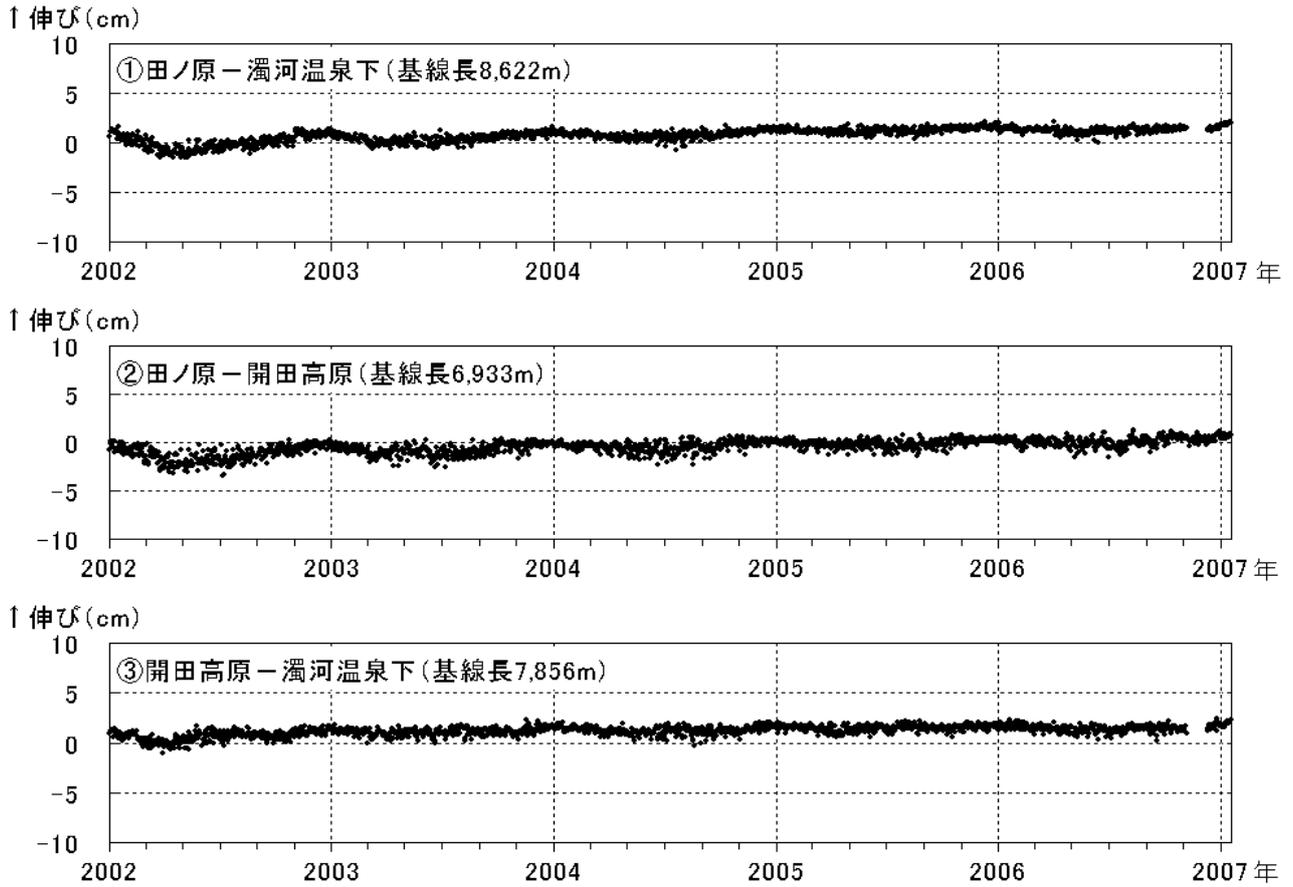


図5 御嶽山 GPS 連続観測による基線長変化 (2002 年 1 月 1 日～2006 年 1 月 18 日)
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動です。
 ①～③は図7のGPS基線①～③に対応しています。

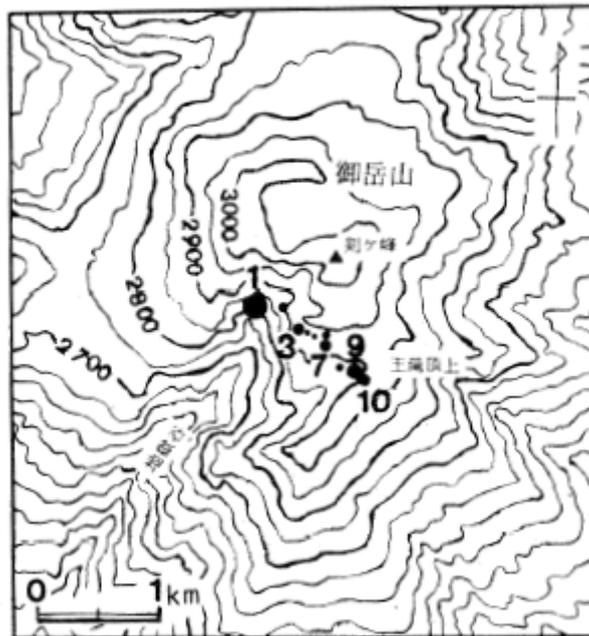


図6 1979 年御嶽山噴火で形成された小火口群の分布 (黒丸、数字は主な火口の番号を示す)

○ 記録に残る火山活動

1979(昭和 54)年

10 月 28 日 噴火

早朝、剣ヶ峰の南西側斜面で割れ目から水蒸気爆発。噴火は 14 時頃最盛期を迎え、同夜にほぼおさまる。剣ヶ峰付近（火口から約 400m）に噴石が飛散、8 合目に小石、前橋付近まで降灰、噴出物総量は約 20 数万トン。山麓で降灰による農作物被害。

1988(昭和 63)年 10 月 4～10 日 火山性地震（低周波地震）多発。

1991(平成 3)年

4 月 20 日 山体直下で火山性地震増加、以降 7 月まで多発

4 月 27 日 火山性微動発生、以降 7 月まで断続

5 月 12 日 最大規模の火山性微動発生（最大振幅 4.5 ミクロン、継続時間約 3 分）

5 月中旬 ごく小規模な噴火

5 月 20 日の現地調査で、1979 年噴火の第 7 火口から火山灰を噴出した跡を確認（第 7 火口はこれまで噴気もなかった）。5 月 30 日の名古屋大学による調査で、第 7 火口東側 200m 程度の範囲に最大厚さ 1cm 程度の火山灰を確認、噴出物総量数 10 トン程度。

1992(平成 4)年 11 月 12 日 火山性地震増加（52 回）

1995(平成 7)年 8 月 火山性微動

規模の小さな火山性微動が 24 日 3 回、25 日 2 回、28 日 1 回、29 日 1 回の合計 7 回発生。最大は 25 日 00 時 14 分に発生した振幅 0.9 ミクロン、継続時間約 2 分間。

2006(平成 18)年 12 月 火山性地震増加

下旬から山頂付近を震源とする微小な火山性地震が増加し、29 日以降は一時的に多発。最大地震は 30 日 15 時 33 分の M1.3。

○ 過去の火山情報発表状況

表 2 御嶽山の火山情報発表履歴

発表日時	情報名	発表官署	内容
1979. 10. 28 12:00	臨時 1 号	長野地方気象台	27 日夜から噴火、噴煙高度 1000m
10. 28 18:45	臨時 2 号	長野地方気象台	噴火継続、南～南東方向に降灰
10. 29 18:20	臨時 3 号	長野地方気象台	予知連統一見解
10. 31 16:40	臨時 4 号	長野地方気象台	地震減少、噴煙高度 300m
11. 2 17:40	臨時 5 号	長野地方気象台	地震、噴煙減少
11. 9 17:20	臨時 6 号	長野地方気象台	2 日に南東山麓を震源とする有感地震、噴煙活動は平穏状態
11. 19 13:40	臨時 7 号	長野地方気象台	予知連統一見解
12. 1 10:10	臨時 8 号	長野地方気象台	噴煙活動次第に弱まる
12. 5 18:20	臨時 9 号	長野地方気象台	2 日から微小地震発生、鳴動、4 日には小さな微動、噴煙に異常なし
12. 12 10:00	臨時 10 号	長野地方気象台	地震、微動減少、活動は静穏
12. 27 13:50	臨時 11 号	長野地方気象台	静穏状態、18 日と 26 日に南東山麓を震源とする有感地震
1980. 2. 14 17:50	臨時 1 号	長野地方気象台	予知連統一見解
5. 22 17:10	臨時 2 号	長野地方気象台	予知連統一見解
10. 28 14:20	臨時 3 号	長野地方気象台	予知連統一見解
1991. 4. 24 11:20	臨時 1 号	松本測候所	20 日以降微小地震群発(常時観測後初)
4. 27 13:00	臨時 2 号	松本測候所	27 日微小地震多発
5. 13 10:20	臨時 3 号	松本測候所	12 日地震多発、振幅の大きい微動発生

注) 御嶽山では 1979 年（昭和 54 年）10 月 28 日噴火に関する火山情報を 14 回発表しているほか、1991 年 4～5 月にも 3 回発表しています。当時は火山情報の種類が現在と異なっていたため、いずれも臨時火山情報として発表されています。

○ 観測点情報

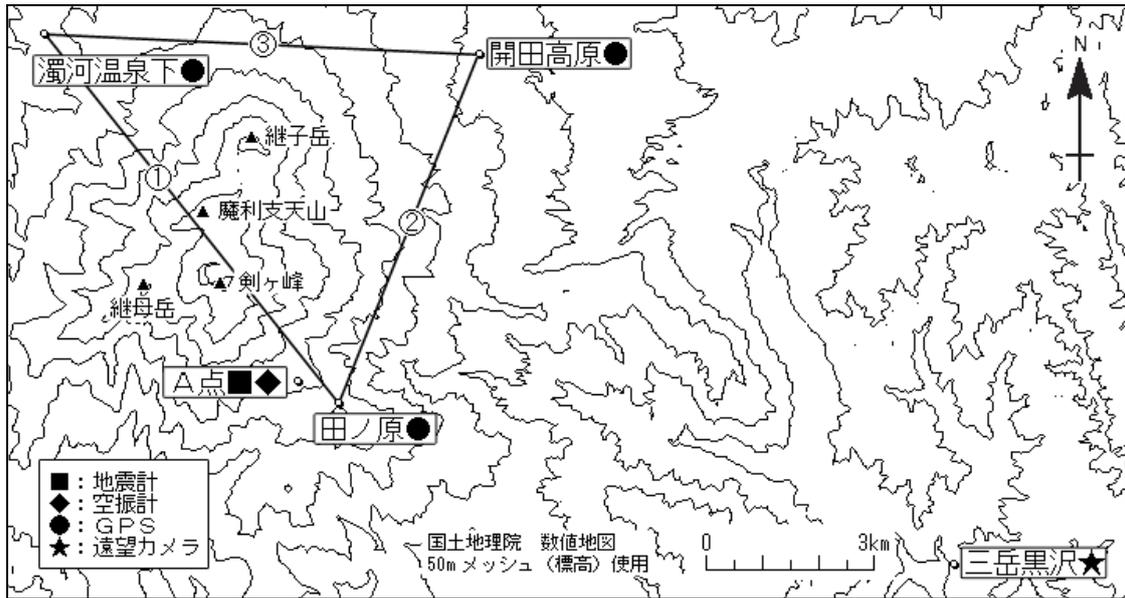


図7 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
 GPS 基線①～③は図5の①～③に対応しています。

表3 気象庁の観測点一覧表（位置は世界測地系）

記号	測器種類	地点名	設置位置			設置高 (m)	観測開始日
			緯度	経度	標高(m)		
■	地震計	A点	35°52.5′	137°29.9′	2244	0	1988.7.15
◆	空振計	A点	35°52.5′	137°29.9′	2244	4	2000.11.2
●	GPS	田ノ原	35°52.2′	137°30.4′	2190	6	2001.10.23
		開田高原	35°55.7′	137°32.1′	1550	4	2001.10.23
		濁河温泉下	35°55.9′	137°26.9′	1680	4	2001.10.23
★	遠望カメラ	三岳黒沢	35°50.6′	137°37.8′	830	10	2001.10.25